

○事業所名	ドリームズ・21st 久居射場校		
○保護者評価実施期間	2024年12月15日		～ 2025年1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	96名	(回答者数) 84名
○職員評価実施期間	2024年12月15日		～ 2025年1月20日
○職員評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	パソコンレッスンでは、日本情報処理検定(パソコン検定)の認定校ですので、当事業所で検定を受けることができます。また普段と同じ席の同じパソコンで、いつもの通所時に検定が受けられます。自分のペースで検定が受けられますので、この経験則を活かし、いろいろなことにチャレンジするときの自信に繋がってあげることができます。	パソコンレッスンでは検定向けのものだけでなく、様々な取り組みを提案させて頂けます。まずは、自分がやってみようから始めることで、パソコンが好きになり、レッスンが好きになれるように楽しく取り組めることで成長を引き出していきたいです。	生徒それぞれの興味関心は異なります。ポケモン好きな生徒には、ポケモンの名前のタイピングなどですと喜んで進めることができます。アニメや漫画などいろいろな興味とパソコンレッスンが紐づくことで「好きこそものの上手なれ」を活かしたいと思います。
2	学習の時間では、宿題以外に漢字検定(漢検)の取り組みができます。漢字検定の認定校ですので、こちらも当事業所で漢字検定が受験できます。クラス単位でもほとんどの小学生が受けられますので、みんなで目標に向かって取り組みことができます。	この漢検の目的は、「丁寧な字の習得」と「宿題以外の学習習慣をつける」ことです。自分が自信をもってできる級を選択し、無理なく宿題以外の学習として漢検に取り組み、合格時に達成感や自信につなげることで、自己肯定感を上げることを目的に取り組んでまいります。	コツコツと漢検学習を続けて、皆と一緒に少しだけ頑張るといふ雰囲気作りをしており、掲示物などでもやる気になってもらえるように工夫しています。また毎年受験してもらるように、独自のポイントカードも活用して、継続することに繋がっています。
3	時間割りがあり、集団活動のなかで取り組むカリキュラムを組んでいます。また2クラス制となっており、少人数のなかでも、それぞれの役割がもてるように、日直や係の当番も生徒が担ってくれます。クラス作りというなかで、相手のことを思いやり、協調性を養うために役立っています。	生徒自身がうまく集団活動のなかで、それぞれの役割を行うにあたって難しい時には、お互いに協力しあうことを促しながら、相手のことを考えられるように声掛けを行っています。	だれもがそれぞれの役割を担えるクラスとなるように、事前の声掛けを大切にしています。たとえば、日直係は、拳手制となっています。いつも手をあげてくれる生徒に偏らないように、いろいろな生徒に事前に話してあげ、不安を取り除いてあげることで、自分から手をあげられるようにしたりします。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がない。	共同で交流するにあたって今までの経験がないので、接点をもつことがありませんでした。放課後の時間にできることなど、限られた時間のなかで模索していく必要があります。	保護者さまのアンケートでも、特に必要と感じないというご意見もありましたので、広くご意見を頂戴しながら検討が必要かと思われます。
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会がない。	こういったものを開催するにあたっての職員の研修不足で、進めることができませんでした。	家族支援のプログラムを作成して、まずは職員の研修が必要です。情報の収集から始め、正しい情報発信ができるように進めていきます。
3	父母会の活動の支援や、保護者会の開催等により、保護者同士の交流の機会がない。	コロナ禍以降、保護者さまとのやり取りはすべて個別になってきており、集団での集まる機会がありませんでした。	保護者様同士の交流の機会として、時期や時間の調整が必要です。こちらも保護者さまのご意見を頂戴しながら、どういった内容のものがいいのか、ニーズをまとめながら検討していきます。